

乳がん検診プラン

超音波検査・・・検査時間：約30分

乳がん検診費用：5,500円(税込)

★健康保険は適用されません。

検診費用は全額自己負担になります。

乳腺超音波検査では、乳房から脇の下の広い範囲にゼリーを塗るため、上半身は衣類を脱いで仰向けに寝ていただいた状態で検査を行います。

検査は、乳房表面に直接プローブ（探触子）を滑らせ、装置画面を観察しながら行います。このとき、検査室内は画面が見やすいように照明が暗くなっています。当センターでは、女性診療放射線技師が乳がん検診を担当しています。

ピンクリボンとは…

乳がんの

★早期発見

★早期診断

★早期治療

の大切さを伝えるシンボルマークです！



★全体で30分程度で終了します。

★検査日：木曜日（祝日を除く）

13:30 / 14:00 / 14:30 / 15:00



アクセス



JR立川駅北口より

- ・徒歩 約15分
- ・タクシー 約5分
- ・立川バス①番もしくは②番乗場より約10分

超音波による 乳がん検診 のご案内



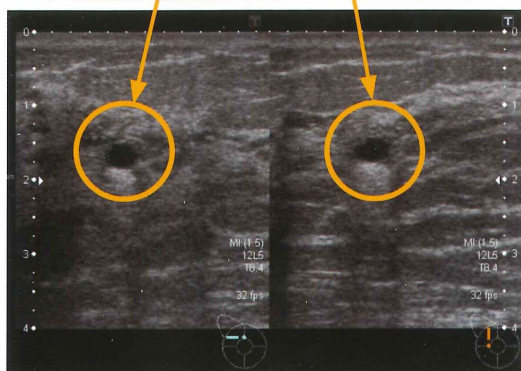
国立病院機構
災害医療センター

乳がん検診のご案内

日本人女性において乳がんは最も罹りやすいがん(罹患率第1位)であり、最近では、日本人女性の十数人に1人が乳がんにかかるといわれ、そのピークが40歳代～50歳代です。家庭や仕事に人生の中で最も充実している時期と重なります。乳がんの急激な増加の原因は、食生活や晩婚化、少子化などのライフスタイルの変化が、女性ホルモンであるエストロゲンの分泌に影響しているためであると考えられています。乳がんは検診による早期発見・早期治療が治療率に大きく影響します。早期に発見し、治療を行えば予後は良好であるとされています。しかし、日本の乳がん検診受診率はいまだ低く、早期発見の機会をのがしています。



乳腺超音波の病変画像



乳腺超音波検診の有効性

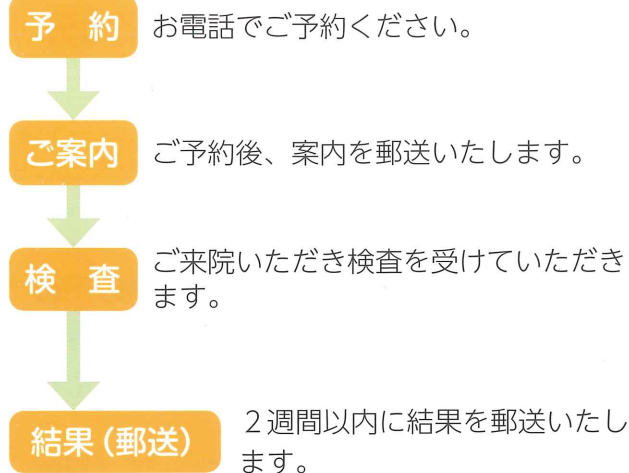
乳がん検診において、マンモグラフィ(X線乳房撮影)は死亡率低減効果が確認された有効性のある検診法です。しかしながら、高濃度乳房や若年者に対する有効性は相対的に低いといわれています。高濃度乳房への対策の一つとして、乳がんの超音波検診があります。日本人女性は罹患年齢が低く、また乳腺密度が高いため、マンモグラフィでのがん発見率が十分とはいえない場合があります。これらの高濃度乳房や若年者に対するマンモグラフィ検診の補助手段として有用であり期待されている検査です。

超音波による乳がん検診をお勧めする方

- 年齢が**40歳代以下**の方
- 乳腺症**と言われたことのある方
- 乳腺密度の高い方**



乳がん検診の流れ



お申し込み方法

★**お電話**にて希望日の**1週間前**までにお申し込みください。

★申込先
国立病院機構災害医療センター
健診部

Tel : **042-526-5511**
(内線 : 1093)

★受付時間 : 平日 9 : 00～15 : 00